

運輸安全マネジメント公表（2022年度）

（貨物自動車運送事業法第24条の3で定める輸送の安全に関わる情報）

名阪急配株式会社

該当期間 2022年1月1日～12月31日

	項目	詳細														
1	輸送の安全に関する基本的な方針	当社は、安全を最優先した環境をつくり、社員一同、地域・社会に貢献し、事故ゼロを目指す。														
2	重点施策	①全社員の安全意識の向上と検証 ②健康管理、労働時間管理の徹底														
3	輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況	<p>【2022年度目標】</p> <p>① 車両事故を撲滅し安全運転の励行とクレームゼロを目指す（全体件数前年比30%減）</p> <p>【2022年度実績】</p> <table border="1" data-bbox="651 685 1460 799"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>達成状況</th> <th>2022年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加害事故</td> <td>未達成(目標21件)</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>クレーム件数</td> <td>達成(目標11件)</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	達成状況	2022年度	加害事故	未達成(目標21件)	32件	クレーム件数	達成(目標11件)	7件					
項目	達成状況	2022年度														
加害事故	未達成(目標21件)	32件														
クレーム件数	達成(目標11件)	7件														
4	自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計	<p>【2022年度実績】</p> <table border="1" data-bbox="651 853 1460 927"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2022年度</th> <th>2022年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当する報告</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2022年度	2022年度	該当する報告	0件	0件								
項目	2022年度	2022年度														
該当する報告	0件	0件														
5	輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置	<table border="1" data-bbox="651 943 1460 2175"> <thead> <tr> <th>講じようとした措置</th> <th>講じた措置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。</td> <td>他社での事故事例や安全に関する法令等改正などの情報を掲示・回覧等により従業員に周知させ、安全意識の向上を実施しました。</td> </tr> <tr> <td>事故情報は要因分析を行い、その結果を展開し、効果的な再発防止策を立てることにより、事故を抑制します。</td> <td>社内ネットワークシステムを活用し、事故情報や対策を速やかに展開することにより、同一不適合の発生を抑制しました。</td> </tr> <tr> <td>事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、文書だけでなく映像を取り入れるなどをし、より効果的な活用とフィードバックを行います。</td> <td>収集したヒヤリ・ハットや事故事例をもとに、動画やパワーポイントにて資料を作成し展開することにより、効果的な教育を実施しました。</td> </tr> <tr> <td>担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。専門家と協力しメンタルヘルスクアの強化を行います。</td> <td>健康診断の実施と健康に関する教育の充実により、健康起因による事故の発生を抑制しました。また、メンタルヘルスクアの専門家に定期的に営業所を巡回いただき、精神疾患の予防を行いました。</td> </tr> <tr> <td>安全機材の継続導入を行います。 ・ASV車の導入 ・後付追突防止装置などの新規導入を積極的に行います。</td> <td>全車両にドライブレコーダー一体型のデジタルタコグラフの導入を行っています。また、ASV車両・後方追突防止装置の導入は引き続き積極的に行っています。</td> </tr> <tr> <td>健康起因事故防止のため、健康機器の導入やSASスクリーニング検査の積極的実施を行います。</td> <td>非接触型の体温計を用いて出勤時の体温測定を義務付けています。また、健康診断の結果により、SASスクリーニング検査の実施を積極的に実施しています。</td> </tr> </tbody> </table>	講じようとした措置	講じた措置	社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。	他社での事故事例や安全に関する法令等改正などの情報を掲示・回覧等により従業員に周知させ、安全意識の向上を実施しました。	事故情報は要因分析を行い、その結果を展開し、効果的な再発防止策を立てることにより、事故を抑制します。	社内ネットワークシステムを活用し、事故情報や対策を速やかに展開することにより、同一不適合の発生を抑制しました。	事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、文書だけでなく映像を取り入れるなどをし、より効果的な活用とフィードバックを行います。	収集したヒヤリ・ハットや事故事例をもとに、動画やパワーポイントにて資料を作成し展開することにより、効果的な教育を実施しました。	担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。専門家と協力しメンタルヘルスクアの強化を行います。	健康診断の実施と健康に関する教育の充実により、健康起因による事故の発生を抑制しました。また、メンタルヘルスクアの専門家に定期的に営業所を巡回いただき、精神疾患の予防を行いました。	安全機材の継続導入を行います。 ・ASV車の導入 ・後付追突防止装置などの新規導入を積極的に行います。	全車両にドライブレコーダー一体型のデジタルタコグラフの導入を行っています。また、ASV車両・後方追突防止装置の導入は引き続き積極的に行っています。	健康起因事故防止のため、健康機器の導入やSASスクリーニング検査の積極的実施を行います。	非接触型の体温計を用いて出勤時の体温測定を義務付けています。また、健康診断の結果により、SASスクリーニング検査の実施を積極的に実施しています。
講じようとした措置	講じた措置															
社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。	他社での事故事例や安全に関する法令等改正などの情報を掲示・回覧等により従業員に周知させ、安全意識の向上を実施しました。															
事故情報は要因分析を行い、その結果を展開し、効果的な再発防止策を立てることにより、事故を抑制します。	社内ネットワークシステムを活用し、事故情報や対策を速やかに展開することにより、同一不適合の発生を抑制しました。															
事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、文書だけでなく映像を取り入れるなどをし、より効果的な活用とフィードバックを行います。	収集したヒヤリ・ハットや事故事例をもとに、動画やパワーポイントにて資料を作成し展開することにより、効果的な教育を実施しました。															
担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。専門家と協力しメンタルヘルスクアの強化を行います。	健康診断の実施と健康に関する教育の充実により、健康起因による事故の発生を抑制しました。また、メンタルヘルスクアの専門家に定期的に営業所を巡回いただき、精神疾患の予防を行いました。															
安全機材の継続導入を行います。 ・ASV車の導入 ・後付追突防止装置などの新規導入を積極的に行います。	全車両にドライブレコーダー一体型のデジタルタコグラフの導入を行っています。また、ASV車両・後方追突防止装置の導入は引き続き積極的に行っています。															
健康起因事故防止のため、健康機器の導入やSASスクリーニング検査の積極的実施を行います。	非接触型の体温計を用いて出勤時の体温測定を義務付けています。また、健康診断の結果により、SASスクリーニング検査の実施を積極的に実施しています。															

6	輸送の安全に係わる情報の伝達体制その他の組織体制	<p>①情報の伝達体制については、下記会議体にて伝達し共有しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・830会議（毎週月曜日開催） ・部内会議（毎月開催） ・安全衛生推進会議（毎月開催） ・コンプライアンス委員会（毎月開催） ・SSQ検討委員会（毎月開催） <p>②事故・災害発生時の情報伝達組織体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙②-1 ・別紙②-2 参照 													
7	輸送の安全に関する教育及び研修の計画・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="639 472 1465 510">実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="639 510 1034 645">新人教育・一般教育内容の充実を図り、継続実施します。</td> <td data-bbox="1034 510 1465 645">新人教育・・・75名 一般教育・・・毎月1回計12回 店舗巡回、追走・・・1596件 添乗指導・・・230名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 645 1034 824">パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実と定着を図る。</td> <td data-bbox="1034 645 1465 824">事事故事例や収集したヒヤリ・ハットを映像化し、eラーニング資料として定期的に教育を行う事により、内容の充実と定着を図りました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 824 1034 1048">管理者への教育、研修内容の充実を図り、継続実施します。</td> <td data-bbox="1034 824 1465 1048">管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。添乗マイスター養成計画による添乗マイスターの育成を行い、3名の管理者が新たに添乗マイスターに任命されました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1048 1034 1227">事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。</td> <td data-bbox="1034 1048 1465 1227">各種教育の手法に関し安全衛生推進チームが講師となり、管理者にオンライン講習を行いました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1227 1034 1339">事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。</td> <td data-bbox="1034 1227 1465 1339">一部営業所において訓練を行いました。</td> </tr> </tbody> </table>		実施状況		新人教育・一般教育内容の充実を図り、継続実施します。	新人教育・・・75名 一般教育・・・毎月1回計12回 店舗巡回、追走・・・1596件 添乗指導・・・230名	パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実と定着を図る。	事事故事例や収集したヒヤリ・ハットを映像化し、eラーニング資料として定期的に教育を行う事により、内容の充実と定着を図りました。	管理者への教育、研修内容の充実を図り、継続実施します。	管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。添乗マイスター養成計画による添乗マイスターの育成を行い、3名の管理者が新たに添乗マイスターに任命されました。	事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。	各種教育の手法に関し安全衛生推進チームが講師となり、管理者にオンライン講習を行いました。	事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。	一部営業所において訓練を行いました。
実施状況															
新人教育・一般教育内容の充実を図り、継続実施します。	新人教育・・・75名 一般教育・・・毎月1回計12回 店舗巡回、追走・・・1596件 添乗指導・・・230名														
パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実と定着を図る。	事事故事例や収集したヒヤリ・ハットを映像化し、eラーニング資料として定期的に教育を行う事により、内容の充実と定着を図りました。														
管理者への教育、研修内容の充実を図り、継続実施します。	管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。添乗マイスター養成計画による添乗マイスターの育成を行い、3名の管理者が新たに添乗マイスターに任命されました。														
事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。	各種教育の手法に関し安全衛生推進チームが講師となり、管理者にオンライン講習を行いました。														
事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。	一部営業所において訓練を行いました。														
8	輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="639 1346 1034 1384">内部監査年1回</th> <th data-bbox="1034 1346 1465 1384">監査結果及び措置内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="639 1384 1034 1720"> 上半期：1センター 下半期：1センター を実施します。 経営トップ及び安全統括管理者等の経営管理部門へのインタビューを実施します。 </td> <td data-bbox="1034 1384 1465 1720"> 上半期：未実施 下半期：名古屋常温センター 栗東定温センター 上記2拠点で実施し、是正箇所はありませんでした。 安全統括管理者へのインタビューは下半期に実施し、PDCAサイクルが適切に運用されていることを確認しました。 </td> </tr> </tbody> </table>		内部監査年1回	監査結果及び措置内容	上半期：1センター 下半期：1センター を実施します。 経営トップ及び安全統括管理者等の経営管理部門へのインタビューを実施します。	上半期：未実施 下半期：名古屋常温センター 栗東定温センター 上記2拠点で実施し、是正箇所はありませんでした。 安全統括管理者へのインタビューは下半期に実施し、PDCAサイクルが適切に運用されていることを確認しました。								
内部監査年1回	監査結果及び措置内容														
上半期：1センター 下半期：1センター を実施します。 経営トップ及び安全統括管理者等の経営管理部門へのインタビューを実施します。	上半期：未実施 下半期：名古屋常温センター 栗東定温センター 上記2拠点で実施し、是正箇所はありませんでした。 安全統括管理者へのインタビューは下半期に実施し、PDCAサイクルが適切に運用されていることを確認しました。														
9	安全管理規程 安全統括管理者	安全管理規程・・・別紙参照 安全統括管理者・・・専務取締役 佐藤 清貴													
10	事業者の行政処分情報	-													